

No. 1429

天皇誕生日

天皇陛下の81才の誕生日を祝う一般参賀が、4月29日皇居で行なわれました。天皇陛下は、皇后さま、皇太子ご夫妻、浩宮さまら、とともに長和殿のベランダに立たれ、参加の人たちに、手をあげてこたえられました。お言葉を述べられる天皇陛下、「誕生日を祝ってくれてありがとう、大勢の人がきてくれて、うれしく思います。これからも皆が幸せであるよう希望します」午後からの記帳も含め、約6万人が訪れ、天皇誕生日をお祝しました。

具象絵画の革命

— セザンヌから今日まで —

東京・八重洲のブリジストン美術館では、いま「具象絵画の革命」展が開かれています。この展示会はミッテランフランス大統領来日を記念して開かれたもので風景表現の最も早い変革者のひとりであったセザンヌからフォーヴィスム、キュビスム、シエル・レアリスム、そして第2次大戦の美術を経て、今日の具象絵画に至る流れを辿るように構成されています。なかでも興味深いのは日本では紹介される機会の少なかったスタール、バルテュスなどフランスを中心とするヨーロッパの現代具象絵画です。それぞれ独自の個性に彩られた作品の数々。具象絵画の新たな可能性を暗示して私たちに強い感銘を与えています。

海難に備えて

船舶火災、衝突、転覆、などの海難事故で活躍する海上保安庁特殊救難隊。横浜にある第3管区海上保安本部に附属するこの特殊救難隊は昭和50年に発足し現在1チーム5人編成で2チームが緊急出動にそなえています。業務は極めて危険であり、作業環境が少悪であるため、隊員たちは多様な特殊能力が必要とされています。なかでもななめに張ったロープをヘリコプターからの降下にみだたスライド降下訓練は最も重要なもののひとつです。4月22日、全国海上交通安全運動の一環として旅客船海難救助訓練が東京港で行われました。「航行中の旅客船が砂利運搬船に衝突され、浸水し、沈没の恐れあり」との想定で行われたこの訓練には巡視船艇4隻、ヘリコプターなどが参加しました。遭難船からの緊急避難、海中転落者の救助と実戦さながらに行われました。続いて、特殊救難隊の訓練。負傷者のつり上げでは見ごとな訓練が展開されました。年々、この特殊救難隊の出動件数も増加しています。人命にもかかわる海難事故には日頃から充分注意したいものです。